

News Letter



見上げてみると・・・

—— エゴノキ ——



下向きにたくさんの花を付けるエゴノキ

新緑の美しい5月頃に雑木林を歩いていると、林床に白い花がたくさん落ちていたのに出会ったことはありませんか？何の花かと見上げてみると白い花が下向きにたくさん着いています。これがエゴノキです。楚々としていて私の好きな花の一つです。

エゴノキは、エゴノキ科の落葉広葉樹で、これだけで林を作ることはなく、雑木林や谷筋などにポツポツと生えている木です。小高木で大きくなっても14m位までです。

エゴノキとは変な名前ですが「果皮がえごいためといわれる」と図鑑には書いてあります。「えごい」って？と広辞苑で調べてみると「えぐい」に同じとあります。かじったことがないのでなんともいえませんが、そのことが名前になるくらいえぐいのでしょうか。

ところで、エゴノキの果実をご存じでしょうか。エゴノキの花は知っていても果実の記憶がない方もいらっしゃるでしょう。エゴノキの果実は卵形をしていて風鈴のように枝からぶらさがっています。風に揺れる様



はかわいらしいものです。この果実は熟しても緑色のままであまり目立ちません。熟して果皮が割れると褐色の種子が1個でできます。この種子はよく発芽するようで、エゴノキの花を気に入った母が種子を取ってきて植木鉢に埋めておいたら全部の種子から芽が出たと教えられました。ただし、種子はサポニンを含み毒があります。エゴノキの果実が池などに落ちると池の魚は死ぬということを聞いたことがありま

す。
エゴノキの芽生えを見たことがありますか。コナラなどの高木がまだ芽生えていないころ、エゴノキの小さな芽生えが光を浴びて輝いている姿は、春の雑木林の大好きな光景です。皆さんも一度エゴノキの清楚な花に出会いにぜひ雑木林に足を運んでみてください。

(大阪支社自然環境調査室・石山麻子)

目次

エッセイ	見上げてみると・・・ - エゴノキ -	1
特集	GIS 地理情報システム	2
Information	BOOKS 曖昧の生態学	4

マンガ	クマゲラ調査物語	5
研究紹介	絶滅危惧種シランの生態に関する研究	6
	ある日のフィールドノートから コウモリ	8